保証書

スチーム式加湿器 保証書　持込修理

取扱説明書、本体表示などの注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理いたします。製品と本書をご持参のうえ、お買い上げの販売店にお申しつけください。製品のある場所での出張修理や製品輸送の場合は、出張料や輸送料などの実費を申し受けます。

型　名	EE-LG35/EE-LG50	修理メモ
●お客様	お名前　☎	
	ご住所　〒	
●お買い上げ日　年　月　日	●販売店名・住所	
保証期間　お買い上げ日より　本体1年	☎	

●印欄に記入のない場合は無効となりますから、必ずご確認ください。

1. ご転居、ご贈答などで、お買い上げ販売店にお申しつけできない場合は、弊社のお客様ご相談窓口にお申しつけください。
2. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   （イ）使用上の誤り、および改造や不当な修理による故障および損傷。
   （ロ）お買い上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷。
   （ハ）火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、および公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障および損傷。
   （ニ）一般家庭用以外（たとえば業務用の長時間使用、車輌、船舶へのとう載）に使用された場合の故障および損傷。
   （ホ）本書のご提示がない場合。
   （ヘ）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書きかえられた場合。
   （ト）消耗部品の交換。
3. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
4. 本書は盗難・火災などの不可抗力以外で紛失された場合は、再発行いたしませんので大切に保存してください。

●お客様にご記入いただいた記載内容は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
●この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社のお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

象印マホービン株式会社
〒530-8511　大阪市北区天満1丁目20番5号 ☎(06)6356-2391

愛情点検　長年ご使用のスチーム式加湿器の点検を！

こんな症状はありませんか
●水もれする
●ご使用中、電源コード・差込みプラグが異常に熱くなる
●焦げくさいにおいがする
●その他の異常や故障がある

ご使用中止
こんな症状のときは、故障や事故の防止のため、必ず販売店に点検(有料)をご相談ください。

ZOJIRUSHI　　家庭用

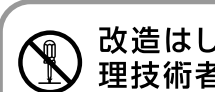
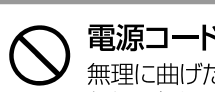
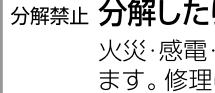
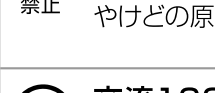
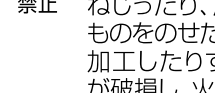
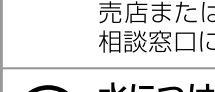
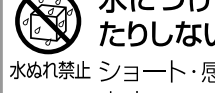
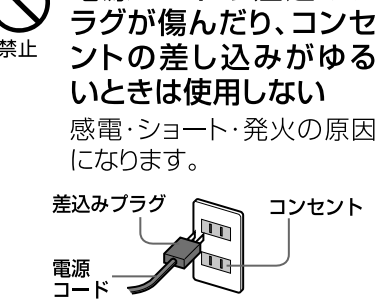
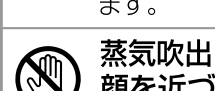
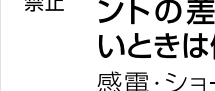
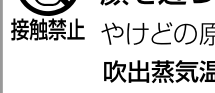
スチーム式加湿器

型名 EE-LG35 型
EE-LG50 型

取扱説明書

●このたびはお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
●取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになったあとは、大切に保存してください。

保証書つき

もくじ

安全上のご注意　必ずお守りください

- ここに表した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
- いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

警告 取り扱いを誤った場合、死亡または重傷[※1]を負うことが想定される内容を表します。

注意 取り扱いを誤った場合、傷害[※2]または物的損害[※3]の発生が想定される内容を表します。

※1 重傷とは、失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

※2 傷害とは、治療に入院・長期の通院を要さないけがややけど、感電などをさします。

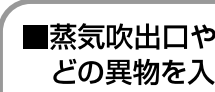
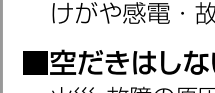
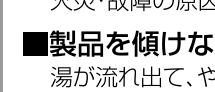
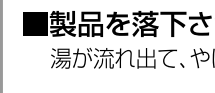
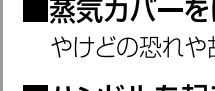
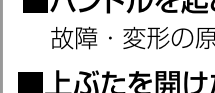
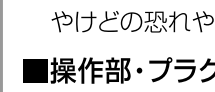
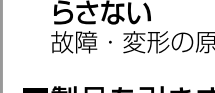
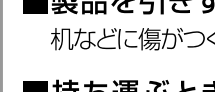
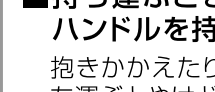
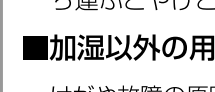
注 意　△記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。具体的な注意内容は図の中や近くに文章や絵で表します。

禁 止　⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。具体的な禁止内容は図の中や近くに文章や絵で表します。

指 示　●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。具体的な指示内容は図の中や近くに文章や絵で表します。

※3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

⚠警 告

分解禁止

改造はしない。また修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない

火災・感電・けがの原因になります。修理はお買い上げの販売店または弊社のお客様ご相談窓口にご相談ください。

水ぬれ禁止

水につけたり、水をかけたりしない

ショート・感電の恐れがあります。

接触禁止

蒸気吹出口にさわったり、顔を近づけない

やけどの原因になります。

吹出蒸気温度：約65℃

禁止

幼児の手の届くところで使わない

やけどやけがの原因になります。

禁止

マグネットプラグをなめさせない

感電やけがの原因になります。

特に乳幼児が誤ってなめないように注意してください。

禁止

使用中や使用直後は持ち運ばない

やけどの原因になります。

禁止

交流100V以外では使用しない

火災・感電の原因になります。

禁止

電源コードや差込みプラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない

感電・ショート・発火の原因になります。

禁止

マグネットプラグの先端にピンなど金属片やごみを付着させない

感電・ショート・発火の原因になります。

禁止

電源コードを傷つけない

無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものをのせたり、挟み込んだり、加工したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

禁止

スリット部のすき間にピンや針金など、異物を入れない

感電や異常動作してけがをすることがあります。

（EE-LG50型のみ）

プラグを抜く

お手入れの際は必ず差込みプラグをコンセントから抜く。また、ぬれた手で抜き差ししない

感電やけがをすることがあります。

必ず実施

定格15A以上のコンセントを単独で使う

他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

禁止

転倒すると熱湯がこぼれるため、幼児の近くや不安定な置き場所で使わない

やけどの恐れがあります。

⚠注 意

禁止

・専用の電源コード以外は使用しない
・電源コードは他の機器に転用しない

故障・発火の原因になります。

禁止

使用中や使用直後は、お手入れをしない

高温部に触れ、やけどの原因になります。

プラグを抜く

使用時以外は、差込みプラグをコンセントから抜く

けがややけど・絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。

必ず実施

差込みプラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端の差込みプラグを持って引き抜く

感電やショートして発火することがあります。

お願い

■**蒸気吹出口や空気吸込口に指やピン・針金などの異物を入れない**

けがや感電・故障・変形の原因になります。

■**空だきはしない**

火災・故障の原因になります。

■**製品を傾けない**

湯が流れ出て、やけどの恐れがあります。

■**製品を落下させない**

湯が流れ出て、やけどや製品故障の恐れがあります。

■**蒸気カバーをはずしたままで運転しない**

やけどの恐れや故障・変形の原因になります。

■**ハンドルを起こしたままで運転しない**

故障・変形の原因になります。

■**上ぶたを開けたままで運転しない**

やけどの恐れや故障・変形の原因になります。

■**操作部・プラグ差込み口は・スリット部、水にぬらさない**

故障・変形の原因になります。

■**製品を引きずって移動させない**

机などに傷がつく恐れがあります。

■**持ち運ぶときは確実に上ぶたを閉め、ハンドルを持つ**

抱きかかえたり、上ぶた開閉つまみを持って持ち運ぶとやけどの恐れがあります。

■**加湿以外の用途（飲用など）には使用しない**

けがや故障の原因になります。

■**凍結する恐れのある場所に長時間電源を切って放置する場合は、必ず内容器内の水を完全にすてる**

凍結による故障の原因になります。

■**蒸気吹出口や空気吸込口をふさいだり、ふきんをかけない**

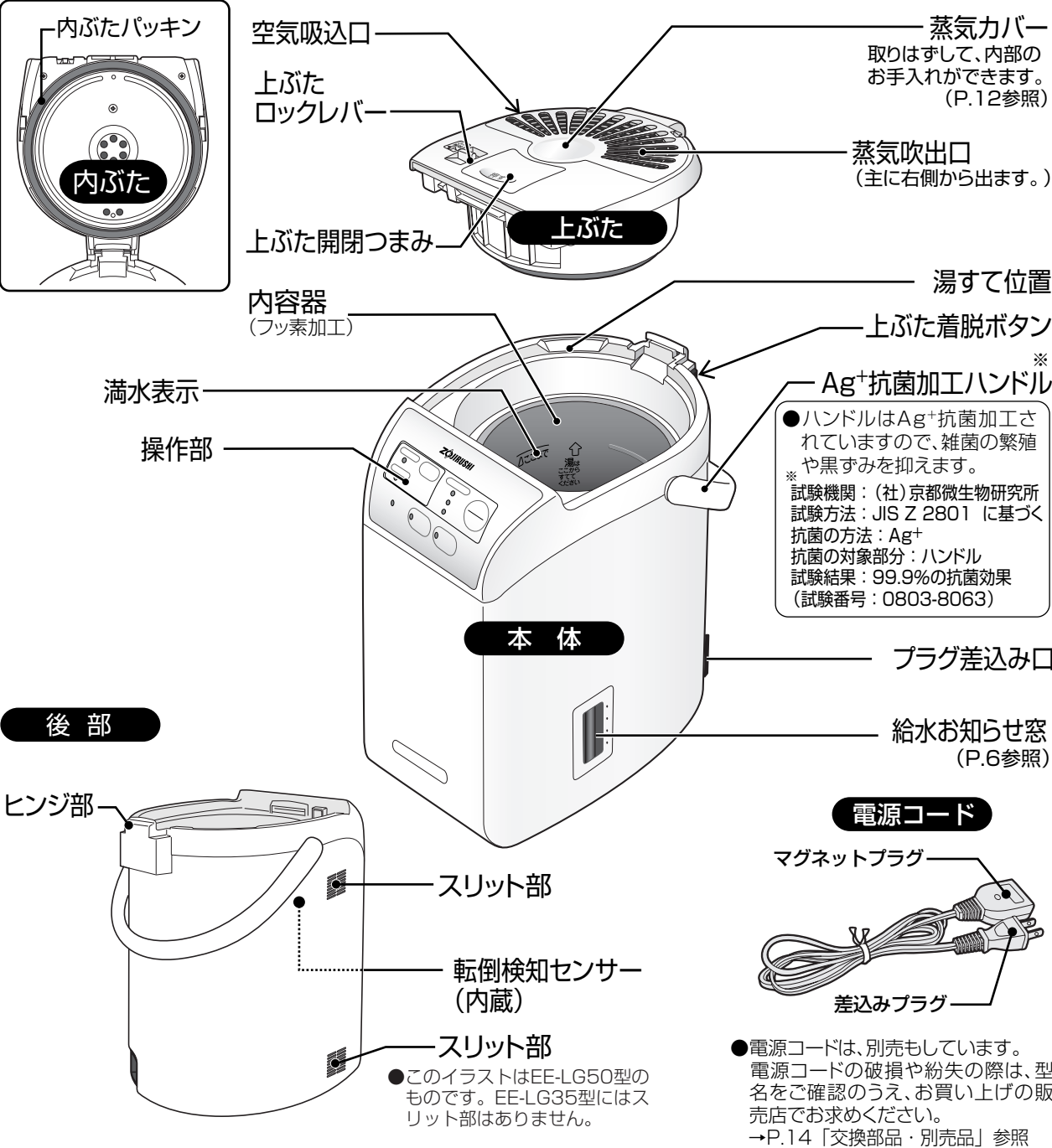
やけどの恐れや故障・変形の原因になります。

■**使用中、使用直後は蒸気カバーの着脱・上ぶたの開閉はしない**

やけどの恐れがあります。

■**次のような場所では使用しない**

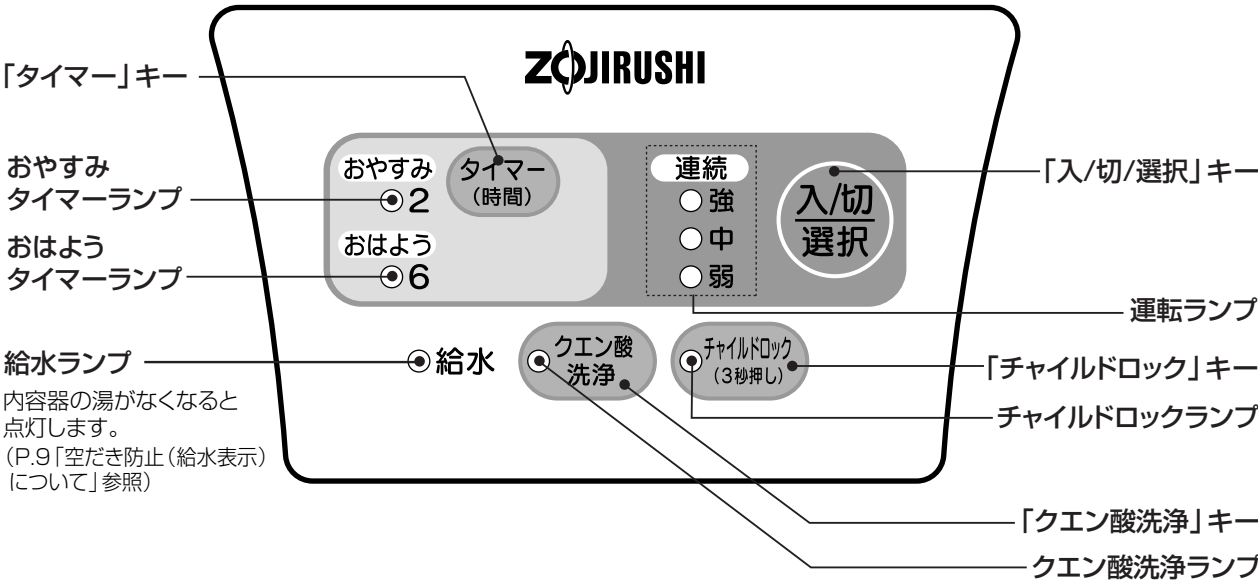
- **壁・天井・家具の近く**
  蒸気により壁などを傷める原因になります。壁や家具に蒸気がつくと結露してカビが発生する原因になります。
- **テーブルクロスなど熱に弱いものの上**
  テーブルクロスなどを傷める原因になります。
- **直射日光の当たる場所や、温度・湿度の高い場所**
  故障・変形の原因になります。
- **テレビなどの電気製品や暖房器具の上**
  火災・感電の原因になります。
- **高いところ（ピアノの上など）**
  落下すると故障・変形の原因になります。
- **ストーブなどの熱源の近く**
  火災・故障の原因になります。
- **ラジオなどの近くで使わない**
  ラジオ、テレビ、無線機、インターホンなどへの影響のないところまで離して使ってください。雑音が入る恐れがあります。
- **他の電気機器に蒸気が当たる場所**
  蒸気により、電気機器の火災・故障・変色・変形の原因になります。

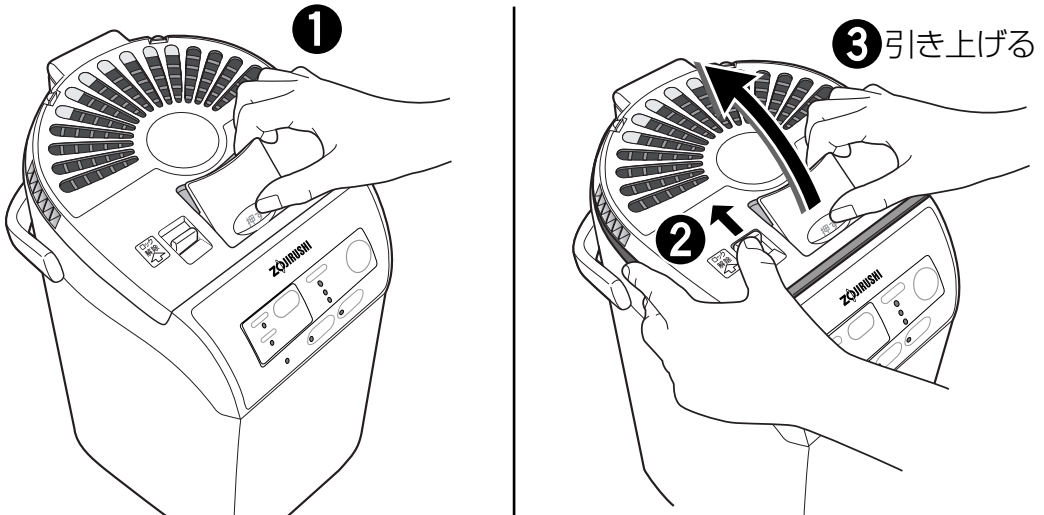
各部のなまえ

転倒時自動オフ機能について

この製品には、「転倒時自動オフ機能」がついています。使用中に製品を傾けたり、万一製品が転倒した場合に、「転倒時自動オフ機能」が作動し、自動的にヒーターへの通電を止めます。(運転ランプがすべて点灯し、お知らせします。)

〈転倒時自動オフ機能を解除するには〉

プラグを抜いた後、製品を立て、再度接続し、「入/切/選択」キーを押してください。(運転を開始します。)

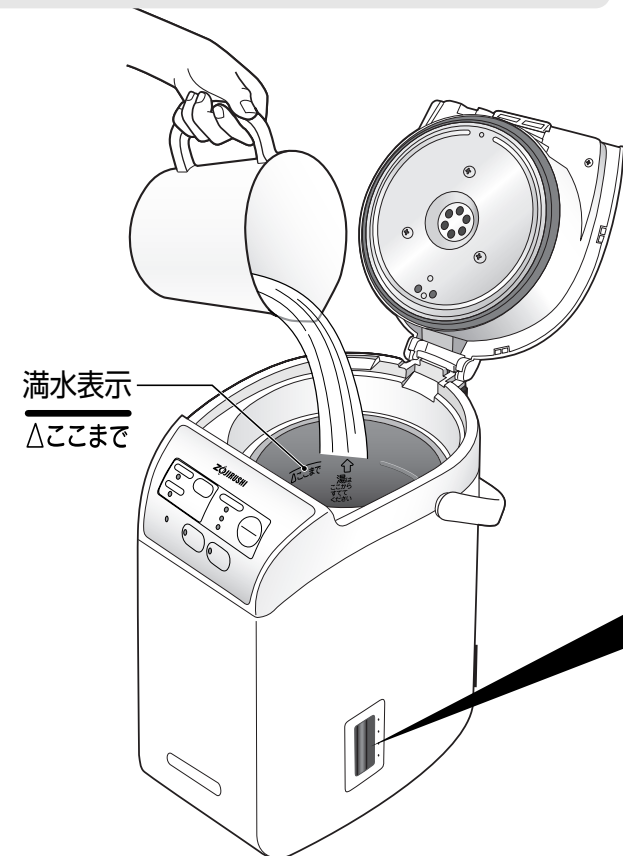
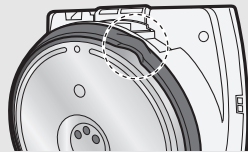
●差込みプラグ・マグネットプラグを差し込んでいない状態では、「転倒時自動オフ機能」は作動しません。

上ぶたの開け方

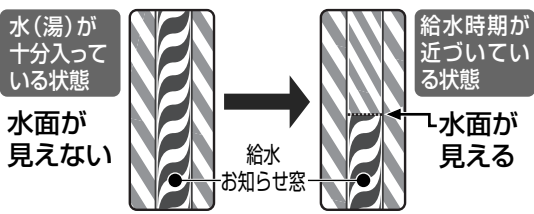
上ぶた開閉つまみのくぼみを押してつまみを起こし(❶)、上ぶたロックレバーを解除方向に押しながら(❷)、つまみを引き上げる(❸)

●使用中・使用直後は上ぶたの開閉はしないでください。(やけどの恐れ)
●上ぶたの開閉は本体が冷めてから行ってください。(やけどの恐れ)
●使用後に上ぶたを開ける場合は、半分程度開けて、一旦止め、上ぶた内部にたまった水を内容器内に戻してからゆっくりと全開してください。(本体外に水が飛び散る恐れ)

使い方

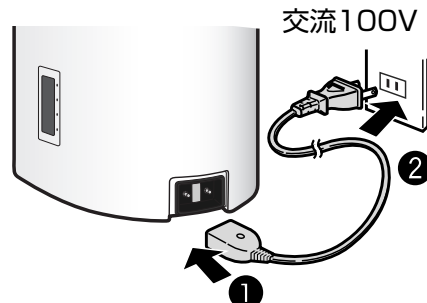
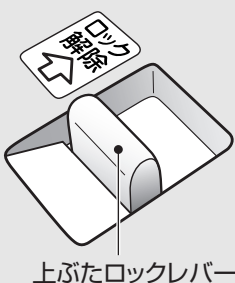
●この製品は、室内の加湿を目的としたものです。室内の加湿 以外の用途に使わないでください。●ご使用前に内ぶたをスポンジで洗ってください。
●ご使用開始後、しばらくはプラスチック・ゴム・塗料などのにお いが気になる場合があります。ご使用につれてにおいは少なくなりますが、気になる場合は換気してください。

1 上ぶたを開け、水を入れる

●ご使用前に内ぶたパッキンに歪みがないか確認してください。
(蒸気もれの原因)

●水は水道の蛇口から直接入れず、別の容器で入れてください。
(あふれるとショート・感電の恐れ)
●満水表示以上に水を入れないでください。
(湯がふき出し、危険)
●本体および操作部・プラグ差込み口・スリット部・ヒンジ部に水がかからないように注意してください。(感電・故障の原因)
●水道水(飲用水)以外のもの・アルカリイオン水・汚れた水・化学薬品・アロマオイルなどは入れないでください。
(ふきこぼれてやけどの恐れ・変形・故障の原因)
●熱湯を入れると空だき防止機能がはたらくことがあります。
(P.9「空だき防止(給水表示)について」参照)

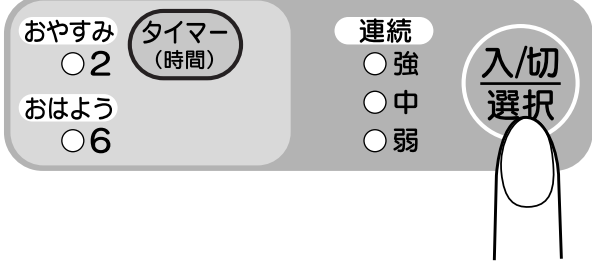
給水時期が近づくと、給水お知らせ窓に水面が見えてきますので、水をつぎたしてください。

●給水お知らせ窓の水位は、残水量表示ではありませんので、実際の残水量とは、異なります。給水時期の目やすとしてご使用ください。

2 上ぶたを閉め、プラグを接続する

●上ぶたは「カチッ」と音がするまで確実に押し込んでください。
●上ぶたロックレバーが右図のように手前側の位置に戻るまで、上ぶたを確実に押し込んでください。
●蒸気カバーが必ず取りつけられているか確認してください。

3 入/切 選択 キーを押す

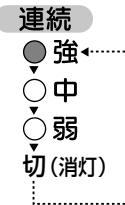
運転ランプが点灯し、水を加熱し始めて、沸とう近くになると加湿を開始します。

●加湿を開始するまでの時間
・EE-LG35型:約20分
・EE-LG50型:約25分
(満水・水温20℃・室温20℃の場合)

●お急ぎの場合は、ぬるま湯を入れるか、給水量を少なめにしてください。

4 入/切 選択 キーを押し、運転モードを設定する

お好みに合わせて運転モードを設定できます。

●キーを押すたび運転ランプが切りかわります。

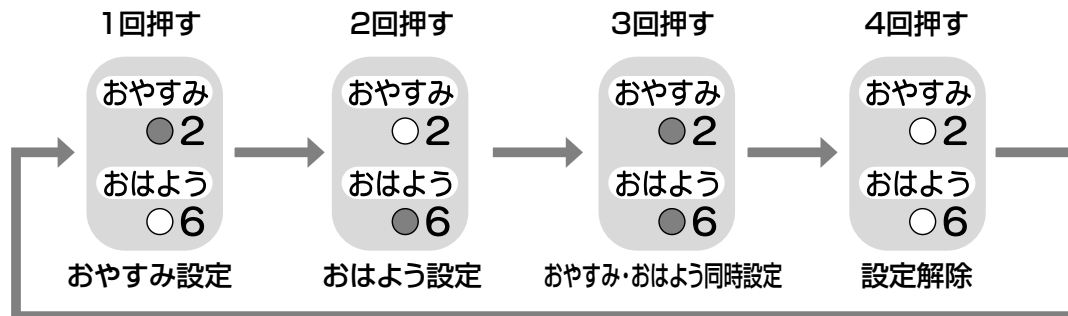
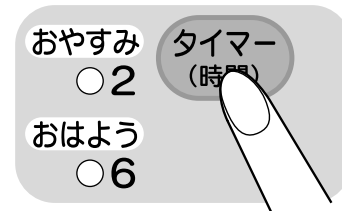
連続
強 → 中 → 弱 → 切(消灯)

連続…お部屋の湿度に関係なく加湿を続けます。
加湿量が選択できるので、お部屋の広さに適した連続加湿ができます。

	設定	加湿量 (mL/h)	適用床面積の目やす 木造和室	適用床面積の目やす プレハブ洋室	こんなときにおすすめ
EE-LG35型	強	350	~6畳	~10畳	●風邪をひいているので常に高湿を保ちたいとき
	中	170	(~3畳)	(~4.5畳)	
	弱	80	(~1.5畳)	(~2畳)	
EE-LG50型	強	500	~8.5畳	~14畳	●のどやお肌の乾燥が気になるので常に蒸気が出ていてほしいとき
	中	250	(~4畳)	(~7畳)	
	弱	125	(~2畳)	(~3.5畳)	

●「弱」を選択するとEE-LG35型で約27時間、EE-LG50型で約24時間の長時間加湿ができます。
(満水・水温20℃・室温20℃の場合)
●蒸気吹出口付近での結露を少なくするため、連続加湿中でも蒸気の発生が止まることがあります。
●部屋の温度・湿度・照明および背景色などによって蒸気が見えにくい場合があります。
●室内外の温度差が大きい冬場や、長時間連続して運転を行うと室内に結露することがあります。
このようなときは、運転を停止するか、運転モードを変更してください。

タイマーの使い方

「タイマー」キーを押し、希望のタイマーを設定してください。

●キーを押すたびにタイマーランプが切りかわります。

おやすみタイマー	おやすみタイマーランプが点灯し、約2時間後に自動的に電源が切れます。
おはようタイマー	おはようタイマーランプが点灯し、約6時間後に自動的に加湿し始めます。 ●設定時間の約30分前に運転を開始します。（タイマーセット時から約5時間30分後） ●開始時はおはようタイマー設定前の運転モードになります。 ●おはようタイマー設定中でも運転モードを変更することができます。（「切」になるとタイマーは解除されます。）
おやすみタイマー＋おはようタイマー	おやすみタイマーとおはようタイマーを合わせて設定できます。 設定すると、おやすみ／おはようタイマーランプの両方が点灯します。 ①「タイマー」キーを押した約2時間後に自動的に電源が切れます。 ②「タイマー」キーを押した約6時間後に自動的に加湿し始めます。

●タイマーを使用するときは、水量を確認してください。
水量が少ない場合、タイマーが切れるまでに水がなくなり給水表示することがあります。

チャイルドロックの使い方

お子さまのいたずらや誤操作を防ぎます。

キーを約3秒間押す

●チャイルドロックランプが点灯し、すべての操作ができません。
ただし、安全のため「入/切/選択」キーを押すと運転が停止します。

解除するときは…

再度

キーを約3秒間押す

●チャイルドロックランプが消灯します。

●差込みプラグを10秒以上抜くとチャイルドロックは解除されます。

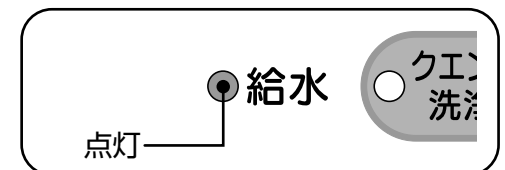
空だき防止（給水表示）について

次のようなときは、過熱による故障を防ぐために空だき防止機能がはたらいて、ヒーターへの通電を止めます。（給水ランプが点灯します。）

原因

●水を入れずに「入/切/選択」キーを押した
●内容器の湯がなくなった
●給水するため、上ぶたを開けたまま放置した
●「入/切/選択」キーを押した後、すぐ湯を入れた

処置

内容器が十分冷めてから水を入れ、
キーを2回押す

●空だきを繰り返すとフッ素被膜が変色したり、はがれたりする原因になります。

使用後

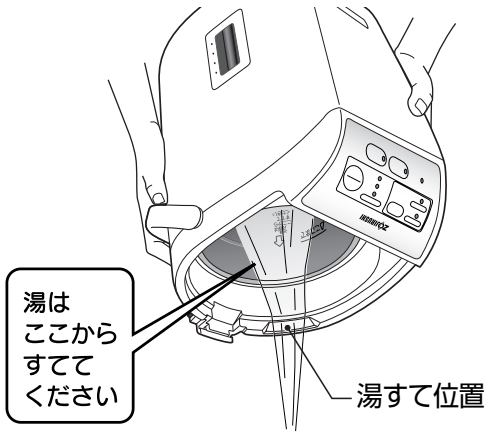
1 入/切 選択 キーを押し、電源を切る ●運転ランプが消灯します。

2 差込みプラグ・マグネットプラグをはずす

3 残り湯をすてる

①上ぶたをはずす
●上ぶた内部にたまった水や湯が内ぶたの穴から出ますので、内ぶたを上に向けてください。

②下図のようにハンドルをしっかりと押さえながら両手で本体を持つ
●すべらないようにしっかり持ってください。

③湯すて位置から残り湯をすてる
●残り湯は本体が冷めてからすててください。

●ぬれた手で差込みプラグやマグネットプラグを持たないでください。
(ショート・感電の恐れ)

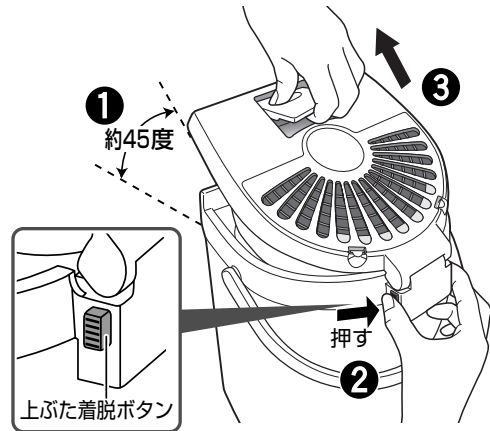
●上ぶたの開閉・着脱は本体が冷めてから行ってください。(やけどの恐れ)

●使用後は必ず残り湯をすててください。
(水アカ付着の原因)

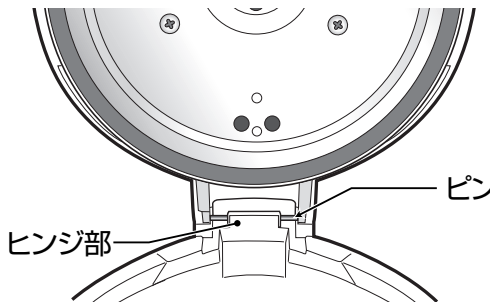
●残り湯をすてるときは、必ず上ぶたをはずしてください。
(上ぶたがはずれ、やけどの恐れ)

●操作部・センサー部・ハンドル・プラグ差込み口・通気口・ヒンジ部に湯がかからないように十分注意してください。
(やけどや故障の原因)

上ぶたのはずし方

❶上ぶたを約45度開ける
❷「上ぶた着脱ボタン」を押す
❸押したまま、斜め上に引き抜く

つけるときは…

斜め上から奥に元どおり押し込む

●上ぶたのピンがヒンジ部にしっかりとセットされていることを確認してください。

お手入れ

必ずプラグを抜き、本体が冷めてから残った湯をすてお手入れしてください。また、お手入れ後は、十分乾燥させてください。

内容器　定期的にクエン酸洗浄をする

内容器の変色・膜状のものについて

加湿器を使っていると内容器にさび状の斑点(もらいさび)がついたり、乳白色・褐色・赤紫色などに変色したり、また湯に膜状のものが混じることがあります。これらは水の成分(ミネラル分・金属イオンなど)によるもので、内容器自体の変色や腐食ではありません。衛生上問題はありませんが、内容器が汚れてくると湯わかし音が大きくなったり、蒸気がにおったりしますので、定期的(1～2カ月に1回)にお手入れしてください。

●使用される水質や運転の回数によって汚れの状態は異なります。

内容器の変色・汚れ	
	●もらいさび(内容器の底)…加湿器内の水に混じった鉄分がさびたもの ●乳白色(内容器の側面)…主としてカルシウムイオンなどミネラル分が付着したもの ●褐色・赤紫(内容器の側面)…主として金属イオンの作用によるもの

(内容器の具体的な汚れについては、添付の「内容器のクエン酸洗浄について」をご覧ください。)

クエン酸洗浄のしかた

①コップにクエン酸30gを入れて、ぬるま湯で溶かし、内容器に水といっしょに満水表示まで入れる
●水は満水表示以上入れないでください。(洗浄中にふきこぼれる恐れ)

②上ぶたを閉め、プラグを接続して、入/切 選択 キーを押す

③ クエン酸 洗浄 キーを押す

洗浄中	クエン酸洗浄ランプが点滅(約1時間30分)	洗浄中 点滅 クエン酸 洗浄
洗浄終了	クエン酸洗浄ランプが点灯	●クエン酸洗浄ランプは、プラグを10秒以上はずすと消灯します。

④プラグ・上ぶたをはずして湯を湯すて位置からすてる
⑤内容器を水ですすぐ

●洗浄時間は、水量・水温・室温などにより多少かわります。
●汚れが落ちにくい場合は、繰り返しクエン酸洗浄をしてください。
●クエン酸洗浄中は「入/切/選択」キー以外は受けつけません。
●途中でクエン酸洗浄を取り消すときは、プラグを10秒以上はずして再びセットしてください。

●泡立ち・ふきこぼれ防止のため、弊社のポット内容器洗浄用クエン酸『ピカポット』をお使いください。(別売)
洗浄用クエン酸は象印製品取扱店でお求めください。→P.14「交換部品・別売品」参照
(クエン酸洗浄剤に記載されている内容に従ってください。)

上ぶた(外装)・本体(外装)	よく絞ったふきんで汚れをふき取る
電源コード	乾いたふきんで汚れをふき取る
内ぶた	柔らかいスポンジで洗い、水ですすぐ

お手入れ つづき

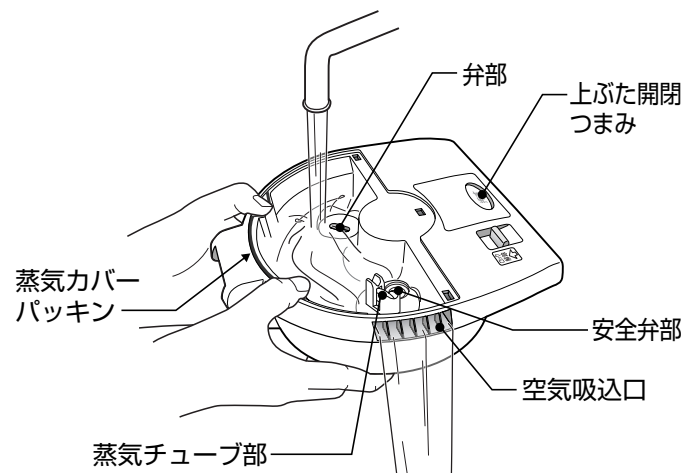
上ぶた（蒸気吹出口内部）

①上ぶたをはずす

●上ぶたの着脱は本体が冷めてから行ってください。

②上ぶたから蒸気カバーをはずす

③上ぶた内部、蒸気カバーを流し洗いする

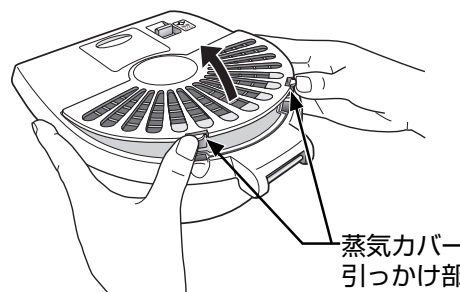
●上ぶた開閉つまみ部に水がかからないようにご注意ください。
●蒸気チューブ部・安全弁部・弁部はさわらないでください。
●上ぶたの下からも水が出てくるので注意してください。
●蒸気カバーパッキンは強くこすらないでください。

④よく水をきって乾燥させる

●水抜き穴からも水を抜いてください。

⑤蒸気カバーを上ぶたに取りつける

蒸気カバーのはずし方・つけ方

■はずし方

上ぶたから蒸気カバーの引っかけ部を持ち上げはずす

■つけ方

上ぶたの穴に蒸気カバーのつめを①、②、③の順にはめ込む

●①、②、③のつめが、しっかりとセットされていることを確認してください。

お願い

●丸洗いはしないでください。また本体には水をかけないでください。
内部に水が入り、故障・さびの原因になります。

●次のものは使わないでください。
・洗剤（においが残る原因）
・食器洗い乾燥機・食器乾燥器（故障・変形の原因）
・みがき粉・たわしなど（内容器のフッ素被膜・内ぶたなどが傷つく原因）
・ベンジン・シンナー（上ぶた・本体などの樹脂が劣化する原因）

●お手入れはこまめにしてください。
内容器はフッ素加工をしていますが、お手入れをしないと変色がとれにくくなります。

■長期間保管するときは

十分に乾燥させ、ポリ袋などで密封し、ゴキブリなどが入らないようにして保管してください。

故障かなと思ったとき

修理を依頼される前に一度お調べください。

症状	原因	処置
運転ランプが点灯しない	差込みプラグ・マグネットプラグがはずれている	プラグを接続する
	水が入っていない（給水ランプが点灯している）	給水する
運転ランプが点灯しているのに蒸気が出ない	水がまだ沸いていない	蒸気が出るまでの時間 EE-LG35型：約20分 EE-LG50型：約25分
	水が少ない	給水する
	室内の温度・湿度によって蒸気が見えにくい場合があります。	
加湿中、大きな沸とう音がする	運転開始直後は音が大きくなります。	
	内容器についた水アカなどの汚れをそのままにしている	クエン酸洗浄で内容器をお手入れする（P.11「お手入れ」）
湯の中で膜状のものが浮遊している	水の成分（ミネラル分）によるもので内容器の腐食やフッ素被膜のはがれではありません。	
蒸気がにおう	水アカなどで容器が汚れている	
	水道水以外の水や古い水を入れている	新しい水道水を入れる
	使いはじめはプラスチックなどのにおいがすることがありますがご使用とともに少なくなります。	
運転ランプがすべて点灯する	本体を転倒させた。または、傾けた	プラグをはずした後再び接続し、「入/切/選択」キーを押す
給水ランプが点灯する	内容器が空になっている	内容器を冷ましてから再度水を入れ、「入/切/選択」キーを2回押す
	給水時に熱湯を入れた	
蒸気吹出口以外の場所から蒸気や水がもれる	上ぶたが確実に閉まっていない	上ぶたを確実に閉める
	内ぶたパッキンが変色していたり、損傷している	内ぶたパッキンを交換する
	内ぶたパッキンが歪んでいる	内ぶたパッキンの歪みを直す
運転中に「カチッ」と音がする	マイコンが制御している音です。	
上ぶたを開閉するとき「カラカラ」と音がする	万一転倒した場合、湯の流出を防止するためのおもりが動く音です。	
本体が熱くなる	室温が高い場合は、本体外側が約60℃になりますが異常ではありません。	

交換部品・別売品

●損傷した場合は、新しい部品と交換（有償）してください。
●お買い求めの際には、製品の型名をご確認のうえ、お買い上げの販売店でお求めください。
（ホームページでのご購入はP.15参照）

部品名	部品番号
電源コード	CD-KD12
内ぶたパッキン	62-5702
ポット内容器洗浄用クエン酸 ピカポット（30g×4包入）	CD-KB03

■上ぶたの樹脂部品および内容器のフッ素加工について

●上ぶたの樹脂部品は、ご使用にともない傷んでくる場合があります。樹脂部品が変色したりザラザラしてきた場合は、交換（有償）してください。
●内容器（フッ素加工）は、ご使用にともない傷んでくる場合があります。お買い上げの販売店または、弊社のお客様ご相談窓口にご相談ください。

■内ぶたパッキンの交換

内ぶたパッキンは消耗品です。1年を目やすにご確認ください。

新しい内ぶたパッキンは、ぬれた柔らかいスポンジでふいてから取りつけてください。

はずし方

① 3本のネジをゆるめる
② 内ぶたパッキンをはずす

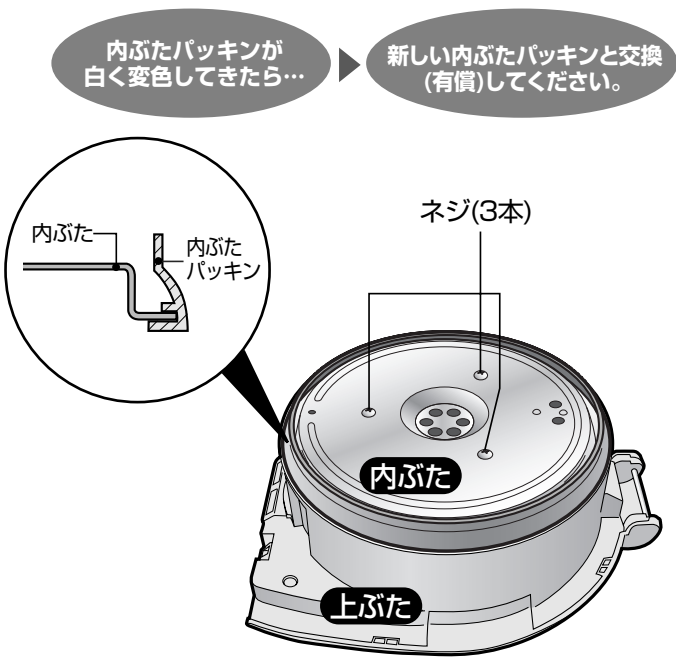
●ネジは上ぶたからはずさないでください。万一はずれた場合、ネジをなくさないでください。

内ぶたパッキンが白く変色してきたら…　▶　新しい内ぶたパッキンと交換（有償）してください。

つけ方

① 内ぶた外周に、内ぶたパッキンを図の通りきっちりとはめ込む
② ネジを確実に締めつける

●内ぶたをはずした場合は、正しく取りつけてください。

内ぶたパッキンが白く変色すると、傾けたり誤って倒した時に、上ぶたと本体のすき間から湯が流れ出てやけどの恐れがあります。

仕様

型名	EE-LG35	EE-LG50
容量	2.2L	3.0L
定格	交流100V　985W　50/60Hz	交流100V　985W　50/60Hz
加湿時最大消費電力	305W	410W
適用床面積（目やす）	木造和室6畳（約10m²）/プレハブ洋室10畳（約16m²）	木造和室8.5畳（約14m²）/プレハブ洋室14畳（約23m²）
定格加湿能力	350mL/h	500mL/h
連続加湿時間（目やす）	「強」時:約6時間/「中」時:約13時間/「弱」時:約27時間	「強」時:約6時間/「中」時:約12時間/「弱」時:約24時間
電源コード	1.2m	1.2m
外形寸法（cm）	幅約24×奥行約28×高さ約28.5	幅約24×奥行約28×高さ約32.5
質量（電源コード含む）	約2.3kg	約2.5kg

●加湿時最大消費電力・適用床面積・定格加湿能力・連続加湿時間は、室温20℃・水温20℃・満水の場合です。
●高さは、ハンドルを倒した場合の寸法です。
●日本国内交流100V専用（定格100V以外の電源では使用できません。）
●特定地域（高い山・厳寒地など）においては、所定の性能が確保できないことがあります。弊社お客様ご相談窓口、またはお買い上げの販売店にご相談ください。

アフターサービス

1. 保証書の内容のご確認と保存のお願い

必ず「販売店印およびお買い上げ日」をご確認のうえ、お買い上げの販売店から受け取り、内容をよくお読みのうえ、大切に保存してください。

2. 保証期間は、お買い上げ日より1年間

3. 修理をお申しつけされるとき

≪保証期間中≫
製品に保証書を添えて、お買い上げの販売店にご持参ください。保証書の記載内容に基づき修理いたします。

≪保証期間を経過しているとき≫
修理すれば使用できる製品は、ご要望により有料修理いたします。

4. 補修用性能部品※の保有期間は、製造打ち切り後 6年間

※性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5. 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
「技術料」は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
「部品代」は、修理に使用した部品および補助材料代です。
「出張料」は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

●お客様ご自身での修理・分解や改造は絶対にしないでください。

お客様ご相談窓口

修理・お取り扱い・消耗品や部品ご購入などのご相談は、まずお買い上げの販売店にお問い合わせください。
ご転居やご贈答などでお困りの場合、弊社の窓口「お客様ご相談センター」にお問い合わせください。
所在地・電話番号などは変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

ホームページのご案内

消耗品・部品のご購入専用ページ
http://www.zojirushi-fresco.com/

お客様ご相談センター

0570-011874
ナビダイヤル 市内通話料金でご利用いただけます

受付時間　9:00～17:00　月曜日～金曜日（祝日、弊社休業日を除く）

●携帯電話・PHS・IP電話など（ナビダイヤルが利用できない電話）でのお問い合わせ　Tel（06）6356-2451
●ファクシミリでのお問い合わせ　Fax（06）6356-6143
製品の「型名・お問い合わせ内容」と、お客様の「お名前・ご住所・電話番号・Fax番号」をご記入のうえ、お問い合わせください。